

# 図工・美術科学習指導研究委員会

## 一 研究テーマ

子どもたちが生き生きと表現活動をするための学習指導のあり方  
～地域との連携を目指して～

## 二 テーマ設定の理由

子どもたちが生き生きと表現活動をするためには題材が重要である。題材は、教科書などの教材をはじめ、児童の身の回りの生活の中や、地域の特性や伝統工芸の中にも見出すことができる。また、その表現活動を支える指導者の力も重要となってくる。

そこで、本年度は題材を「地域との連携を目指して」とした。上田市立美術館の学芸員の方とともに研修会、情報・意見交換会を通して互いにつながりを持つことが、子どもたちが生き生きと表現活動に取り組むための支えになるのではないかととらえ、本研究テーマを設定した。

## 三 研究の経過

第1回委員会	5月17日(月)	年間活動計画の立案	研究テーマの決定	(教育会館)
第2回委員会	7月12日(月)	教育課程午後の打ち合わせ	教材研究会	(サントミュージゼ)
第3回委員会	11月1日(月)	教材研究会	情報交換会	(サントミュージゼ)
第4回委員会	11月29日(月)	本年度の反省会		(ZOOMにて行う)
第5回委員会	2月14日(月)	教材研究会(美術鑑賞)		(サントミュージゼ)

## 四 研究の内容

- 1 上田市立美術館の学芸員の方と学校教育への参加について考える。
- 2 子どもアトリエに紹介されている教材を製作しながら技術伝達を行う。
- 3 「巨匠たちの少年時代展」特別展を鑑賞し、今後の指導や見方考え方を高める。
- 4 各校の作品を持ち寄ったり、図工美術指導の課題を持ち寄ったりして情報交換を行う。
- 5 学校と美術館との関係をさらに深めていくための方策を考え意見交換する。

## 五 研究のまとめと課題

本年度も引き続き、上田市美術館と連携し、研修を行うこととした。上田市美術館に赴き、その指導の下、教材研究を行った。美術館に所蔵されている作品鑑賞の方法は、発達段階に応じ様々なアプローチがあることや、水彩ペンを使った作品作りでは、容易にできる上に色遊びや自分の願った作品が描けることを学んだ。学芸員の方との連携についての重要性を改めて感じさせる研修であった。また、各学校の作品紹介を通して、課題や情報交換を行うことができた。

### 課題

- 今後も、学芸員の方々と学校とのつながりを継続していけるような美術館の活用について考えていきたい。
- 委員だけでなく、幅広く上小の教員に技術や知識を学べるような機会を模索していく。

## 六 図工・美術学習指導研究委員

上野 勝裕(北小学校長)      太田 咲(本原小)      飯嶋 広恵(城下小)  
羽田 光(東部中)      田中 志保(第二中)      山下 博(川辺小)